

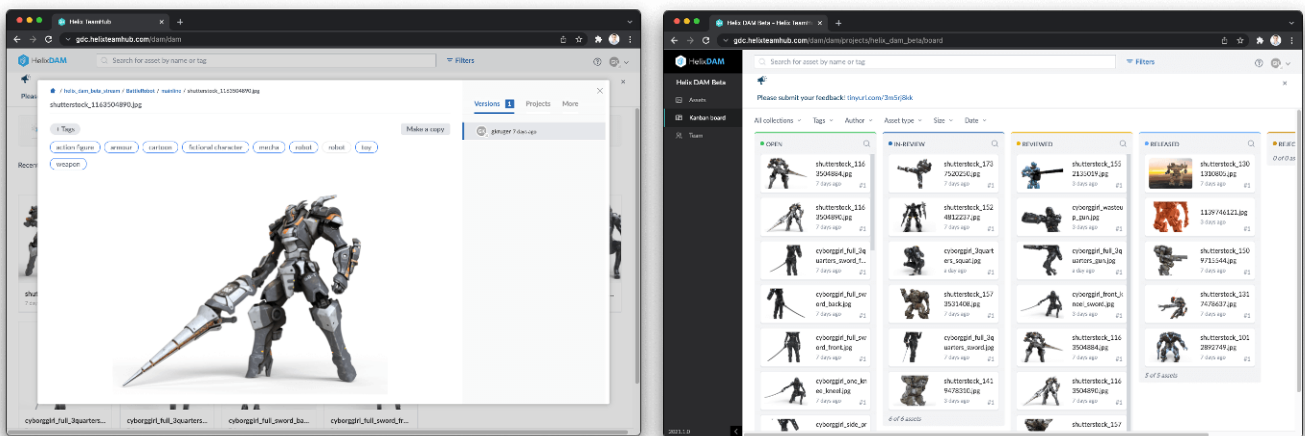
2022年10月24日
株式会社東陽テクニカ

クリエイティブ制作のワークフローを効率化する デジタルアセット管理ツール「Helix DAM」販売開始 ～ファイルのバージョン管理からレビュー、プロジェクト進捗の視覚化まで可能に～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、米国・Perforce Software 社製のデジタルアセット管理ツール「Helix DAM」の日本での販売を2022年10月24日に開始いたします。

「Helix DAM」は、あらゆる種類、サイズのデジタルアセット(データファイル)を安全かつ一元的に保管・管理するためのツールです。デジタルアセットの検索からバージョンの管理、再利用、レビュー、そしてプロジェクトの進捗管理まで、クリエイティブ制作の現場で必要となる機能を数多く搭載しています。

東陽テクニカは、「Helix DAM」の提供を通じて、デジタルアセットの適切な管理からクリエイティブ制作のワークフローの効率化を図ることで、制作現場の生産性向上を支援し、日本のソフトウェア開発のさらなる発展に貢献してまいります。



デジタルアセット管理ツール「Helix DAM」ソフトウェア画面イメージ

【背景/概要】

～ VR や AR、MR などの仮想化技術を利用したビジネスが拡大、制作の現場では膨大なデジタルアセットの管理が課題に ～

社会のデジタル化が急速に進むにつれ、VR(仮想現実)や AR(拡張現実)、MR(複合現実)などの仮想化技術を利用したビジネスも拡大し、それらの技術を利用して提供されるサービスや体験に対する期待も高まっています。現実世界と遜色ない仮想空間を作り上げるためには、高解像かつ高精度なデジタル画像や 3D モデル、音源や映像などのデジタルアセットが大量に必要とされます。これらのデジタルアセットは、制作に使われるツールもそのフォーマットもさまざまであるが故に、一元的な管理が非常に難しいという側面があります。そのため、複数の場所に分散して保管された結果、ファイルがすぐに見つからない、自身の手元にあるファイルが最新版かどうかの確信が

持てないなどの問題が生じます。ソフトウェア開発の現場では、これらの解決策として、バージョン管理ツールが以前より導入されてきましたが、従来のツールは視覚的・直感的な仕様ではないものが多く、クリエイターにとって使いづらいことが課題となっています。

～ ソフトウェア開発現場で一般的なバージョン管理をクリエイティブ制作の現場へ ～

「Helix DAM」は、クリエイターの利便性を追求したウェブベースのデジタルアセット管理ツールです。フォーマットが多岐にわたり容量が非常に大きくなりやすいデジタルアセット全てを一元的に保管できるデータベースを提供します。このデータベースは、バージョン管理ツール「Helix Core」を利用しており、Adobe Photoshop™ や Autodesk Maya™ などのクリエイティブツールからファイルを「Helix DAM」に保存(登録)するだけで、「Helix Core」がデータを守り、バージョン管理まで厳密に行います。

さらに、2D 画像に加え 3D データまで対応可能なプレビュー機能、AI による自動タグ付け機能、Elasticsearch※1 を利用した高速かつ高精度な検索機能を実装し、目的のデータファイルを即座に見つけ出せるようにしています。既存のデジタルアセットを別プロジェクトなどで再利用するための仕組みも用意されており、ウェブブラウザ経由でプレビュー画面をレビューし、コメントを残すことや、かんばんボードでクリエイティブ制作の進捗状況を俯瞰することも可能です。

「Helix DAM」は、デジタルアセットの管理およびクリエイティブ制作のワークフローを大幅に効率化することで、クリエイターの作業負担を軽減し、貴重なデジタルアセットの価値を最大化します。

※1 Elasticsearch : Elastic 社が提供する、高速かつスケーラブルな分散型検索／分析エンジン。

【 デジタルアセット管理ツール「Helix DAM」の主な特長 】

- ・ ファイルの種類やサイズを問わず、すべてのデジタルアセットを一元管理
- ・ デジタルアセットを安全に保管。厳格なアクセス管理で外部との共有も安心
- ・ ファイルとして単体で管理しながら過去の変更履歴をすべて保持（バージョン管理）
- ・ 2D 画像に加え、3D データのプレビューも可能
- ・ デジタルアセットの中身を AI が自動で判断し、タグ付け
- ・ Elasticsearch を利用した、高速かつ高精度な検索
- ・ プレビュー画面上でレビュー、ピンポイントのコメント付けが可能
- ・ プロジェクトの進捗をかんばんボードで視覚化
- ・ Adobe Photoshop™ や Autodesk Maya™ などのクリエイティブツールとも連携



【製品データ】

- ・製品名：デジタルアセット管理ツール「Helix DAM」
- ・販売開始日：2022年10月24日

<参考>

・高速ソフトウェア・バージョン管理ツール「Helix Core」

製品紹介ページ：<https://www.toyo.co.jp/ss/products/detail/perforce>

<Perforce Software 社について>

Perforce Software 社は、1995年に設立されたソフトウェア開発支援ソリューションのグローバルプロバイダーです。ソースコードの静的解析や脆弱性検出をはじめとするテストツールから、デジタルアセットやプロジェクトの管理ツールまで、ソフトウェアの開発ライフサイクル全般において、開発者を支援するためのソリューションを幅広く提供。同社のソリューションは、フォーチュン 100 企業の 75%が導入し、世界中で 100 万人以上が利用しています。

Perforce Software 社 Web サイト：<https://www.perforce.com/company>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953年の設立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G 通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL：03-3279-0771(代表)

Email：marketing_pr@toyo.co.jp

ソフトウェア開発支援サイト：<https://www.toyo.co.jp/ss/>

Helix DAM 製品紹介ページ：<https://www.toyo.co.jp/ss/products/detail/helixdam>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。